

公表

あおっこ 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あおっこ			
○保護者評価実施期間	2026年4月1日		～	2026年4月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2026年4月1日		～	2026年4月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一対一の信頼関係に基づいた、療育環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内での活動に偏りすぎないよう、複数の公園に行きシャボン玉をしたり自然と触れ合えるように配慮</li> <li>・好きなもの、興味があるものを把握し苦なことと組み合わせながら活動と組み合わせている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜、活動内容の見直し検討</li> <li>・社会性が身につくよう、外出レクや買い物レク等を取り入れる</li> </ul>
2	Instagramを活用した活動内容の可視化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に更新ができるよう担当の職員を決めている</li> <li>・写真だけではなく、動画も取り入れて見やすさを重視</li> <li>・誤字・脱字がないか複数の職員で確認</li> </ul>	イベント開催時の告知にも活用し、透明化を図る
3	スケジュールの構造化、視覚的構造化を意識した環境設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の流れは写真と文字を組み合わせ、ホワイトボードに掲示</li> <li>・新しい場所に行く時には個別で写真を提示</li> <li>・入ってはいけないところは、しきりの設置や×をつけて視覚的に分かりやすくしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援技術の更なる向上をはかる為の、事業所内での研修会実施</li> <li>・物理的構造化を必要に応じて取り入れる</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる研修会が実施できていない	実施するにあたり時間と場所、人材の確保が難しい	あおっこカフェ等の行事と組み合わせ、時間を確保し実施する
2	イベントの趣旨やメリットの周知不足	昨年度は、イベントの開催が決まってから開催日までが短期間で準備に追われており、参加したくなるような働きかけができていなかった	Instagram、手紙にてイベントの様子を発信し、参加へのハードルを下げる
3	個別支援におけるケース検討の深化と多角的な視点の共有	一日を通してのMTGはしていたが、個にフォーカスした話し合いは日々の業務に追われ習慣化されていなかった	月に一度、時間を決めて例検討を実施する

公表

## あおっこ 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あおっこ			
○保護者評価実施期間	2026年4月1日		～	2026年4月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2026年4月1日		～	2026年4月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月24日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	データに基づいた事前予測と環境設定	頭痛一や天気予報をまめに確認して、職員間で共有。活動内容の変更や個別配慮における事前準備をおこなう	・頭痛一等で得られる客観的な気象データと、日々の支援記録を照合・分析する体制を強化していく ・成功事例をデータベース化することで、精密で再現性の高い先回り支援を確立できるようにする
2	多角的な視点による活動プログラムの構成	・一週間おきに活動を変更し、お別れ会や季節にあわせたイベントの設定 ・集団活動とは別に、個別の療育も適宜実施 ・改善点を話し合い、同じ活動でもねらいやルールを変更し楽しく参加できるよう工夫	・月間重点プログラムを設定し、どのような反応を示したか、変化等をより丁寧に把握・共有する
3	Instagramを活用した活動内容の可視化	・定期的に更新ができるよう担当の職員を決めている ・写真だけではなく、動画も取り入れて見やすさを重視 ・誤字・脱字がないか複数の職員で確認	・閉鎖的にならないよう投稿は継続イベント開催時の告知にも活用する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる研修会が実施できていない	実施するにあたり時間と場所、人材の確保が難しい	あおっこカフェ等の行事と組み合わせて、時間を確保し実施する
2	イベントの趣旨やメリットの周知不足	昨年度は、イベントの開催が決まってから開催日までが短期間で準備に追われており、参加したくなるような働きかけができていなかった	Instagram、後日手紙にてイベントの様子を発信し、参加へのハードルを下げる
3	職員間の情報共有の効率化	送迎の兼ね合いで、全員揃ってのMTG(昼)ができないことがある	共有ノートを準備し、当日の活動の内容や配慮事項を集約し伝え漏れがないようにする